

総会后～ドロー会議当日

総会后～ドロー会議までは1週間しかないので注意する！

仮トーナメント作成は時間がかかるので総会后すぐにやっておく、わからなかったらすぐに聞く！

<簡単な内容>

総会后

- ・ドローファイルの催促
- ・ドローファイルの内容確認・修正
- ・「仮トーナメント」作成

ドロー会議当日

- ・準備するもの
- ・田島印刷さんとの打ち合わせ

詳しい内容↓

総会后

<ドローファイルの催促>

ドローファイルは男子と女子があるのでどちらかを忘れないように注意

- ・総会后もなかなかドローファイルはそろわないのでそろうまで催促する。

<ドローファイルの内容確認・修正>

・送られてきたドローファイルの形式がきちんとしたものになっているかを確認する（**男子・女子の両方**）。（連盟のホームページにある「**ドロー提出用ファイルの書き方**」に添って書いてあるか確認。）

・大体の大学が書き方のとおりにやってくれていないので、「ドロー提出用ファイルの書き方」にそって修正する。（修正し終わったファイルには名前に「修正済み」などと加えるとどれが修正済みなのかがわかりやすい。）

・このあと、**ドロー原稿を作成**する工程がある。詳しくは「ドロー会議後」のところに書くが、この作業はできるだけ早くやるとよい（**ドロー会議後、トーナメントとドローの両方を田島印刷さんとの約束の日までに完成するのが大変だから**）。

<仮トーナメントの作成>重要

・ドロー会議当日のトーナメント作成がスムーズにいくように、あらかじめ仮のトーナメントを作成する。その仮トーナメントの中で早い段階で同じ大学のペアが対戦するなど不都合が生じるのでそれをドロー会議当日にほかの理事大学と話し合って調整する。(男子の分だけ。女子は数が少ないため、ドロー会議当日に)

<作製の手順>

1. まず引き継ぎ資料 (USB) にある。「男子トーナメント表オリジナル」を開く。
2. ちなみに保存するときは名前を付けて保存! 「第〇〇大会 (20__春季)」みたいな感じで。
3. 一番左側のシート「男子選手権の部 1」を選択。
4. 上の方にある「試合会場; 〇 〇 〇 〇 大 学」と書いてあるセルに会場の大学名を入力する。大学名の文字の間には半角スペースを入れる。
5. 次に、一番右側のシート「書き込みページ」を選択する。
6. 「書き込み (例)」をみて前回の戦歴の順にシード番号どおりにペアを入力していく。

<手順>「個人戦用」という紙を見ながら入力するが、入力したペアはチェックしておくと、まだ入力していないペアがどれなのかがわかるからそうした方がよい。

(フ) 前回の戦歴が良い順に入力。

(イ) 1 位のペア→2 位のペア→…みたいに

(ウ) まず前回 1 位のペアを入力。

(エ) ペアがわかれている場合はそのペアの後衛が含まれるペアを優先し、その次に前衛のペアをいれる。

(オ) 次に 2 位のペアを入力。

(カ) ペアがわかれていた場合は同じように入力。

(キ) この要領でベスト 4 までを入力。

(ク) 前回ベスト 4 に入ったペア・選手がおらず、ベスト 4 の枠が残っている場合は、前回ベスト 8 となったペアを繰り上げていれる。(これ以降入れていく順番は以下に書く。)

(ケ) この時前回ベスト 8 になったペアが数ペアいると思うので、その場合の入れる順番

- ① まずそのペアがどちらともベスト 8 であるものを優先。
- ② それでも、数ペア同じ戦歴のペアがいると思うのでその場合は、**団体戦の順位** (下の※印を参照) の良い順に入れていく。
- ③ それでも、同じ大学で同じ戦歴になる場合は、校内順位の良いペア (各大学 1 ペア) を入れる。
- ④ 入れた後、次に入れるのは、2 番目に団体戦の順位の良い大学のペアを入れていく。
- ⑤ その次に入れるのは、3 番目に団体戦の順位の良い大学のペアを入れる。
- ⑥ 同様にやっていくと団体戦の順位が最も悪い大学のペアをいれるときがくる。それを入れる。
- ⑦ この次にやっと同じ大学内で戦歴が被っていて校内順位の悪かったペアを入れていく。
- ⑧ この次は、次に団体戦の順位が良い同じ大学内で戦歴が被っていた校内順位の悪いペアを入れる。
- ⑨ このようにやっていき、どちらともベスト 8 のペアがいなくなったら、次に後衛だけベスト 8 のペアを入れていく。
- ⑩ 後衛だけベスト 8 の中でも数ペア同じ状況のペアがいるときは、組む前衛の戦歴が良い順に入れる。
- ⑪ そのときにまだ同じ状況のペアが数ペアいる場合は、上の「②～⑧」と同じような手順で入れる。
- ⑫ 次に、後衛だけベスト 8 で組む前衛の戦歴がないペアをいれる。
- ⑬ その時また同じ状況のペアが数ペアいる場合は「2.～8.」と同様の手順で入れる。

⑭ 次に前衛だけベスト 8 のペアを入れていく。これは後衛だけベスト 8 のペアのときと同じような手順で入れていく。

(コ) 次にベスト 16 のシード以降に未入力のパアを入れていく。この手順も「①～⑭」のベスト 8 をベスト 16 に読み替えて行う。

(サ) 同様に、ベスト 32 シードに入れていく。

(シ) そうすると、前回の戦歴が書かれていないペアが残る。

(ス) その時は、まずベスト 32 に誰も入れていない大学の校内順位 1 位のペアを入れる。

(セ) いくつかの大学がある場合は団体戦の順位が良いほうを優先。

(ソ) それが終わって、次に入れるのは残っているペアの中で各大学内の順位が一番良いペアを各大学 1 ペアずつ団体戦の順位の良いほうから入れる。

(タ) その次は、また残っている中で各大学内の順位が一番良いペアを各大学 1 ペアずつ団体戦の順位の良いほうから入れる。(2 週目)

(チ) またこれを繰り返していく。

(ツ) すると最後に、片側 open のペアと両方 open のペアが出てくる。

(テ) まずは、片側 open のペアを入れていく。

(ト) 片側 open で各大学内の順位が一番良いペアを各大学 1 ペアずつ団体戦の順位の良い順に入れていく。

(ナ) まだ残っている場合は (ト) を繰り返す。

(ニ) 最後に「書き込みページ」の注意にあるように 144 ペアよりも少ない場合は空欄にスペースを記入する。(記入しないと、トーナメントの空欄に「0」と表示されてしまうから。)

※団体戦の順位が良いとは…1 部>2 部>3 部>4 部の順。(具体的には一番良いのは 1 部 1 位の大学で、1 部最下位のほうが 2 部 1 位よりも良い。)

7. 次に、「個人戦用」の用紙に書かれている出場する全ペア数とトーナメントに入力した全ペア数が一致するか確認！

8. 最後に「男子選手権の部 1」から「男子選手権の部 4」の計 4 ページ分を印刷して終了です。お疲れ様です！

ドロー会議当日

<準備するもの>

絶対必要なもの (4 種類)

- ・男子の仮トーナメント+予備 (4 枚×2) ……総会後に作って印刷したもの。
- ・女子のトーナメント表オリジナル(1 枚×2) ……引き継ぎ資料の「女子トーナメント表オリジナル」を試合会場のみ入力して印刷する。
- ・「個人戦用」という書類 (男子・女子) ……総会のときに回収したもの。これがないと女子がトーナメントを作成できない。
- ・選手権トーナメント作成手順 ……引き継ぎ資料の中にある「選手権トーナメント作成手順」という PDF ファイルを印刷する。

できればあるといいもの (3 種類)

- ・男子の仮トーナメントの拡大版 ……拡大コピーする。
- ・女子のトーナメント表の拡大版 ……拡大コピーする。

・ドローファイル完成原稿・・・・・・・・ドローファイルをパンフレット用にまとめた完成型の原稿（できればこの時に完成しているとよい作り方は「ドロー会議後」の仕事内容に書いている。）

<田島印刷さんとの話し合い>

- ・ドロー会議当日に田島印刷さんがいらっしゃるので、**パンフレットの件**について話し合う。
- ・具体的には**ページ数**と**完成原稿**（トーナメント表とドロー）の**締切日**と**提出方法**を話し合う。
- ・田島印刷さんに**提出方法と郵送先**をうかがって、それに従う。（提出する**用紙の大きさ**なども聞いておく。）
- ・例年ページ数は決まっている。トーナメント表（男子 4 ページ、女子 1 ページ）、ドロー（男子 6 ページ、女子 2 ページ）